

保健医療学部履修要項

授業科目等

第1条 保健医療学部各学年において履修する科目、単位数及び配当年次は別表のとおりとする。

選択科目

第2条 選択科目については、履修科目届を所定の期日までに事務課に提出しなければならない。

- 2 第2・3・4学年においては、授業日数の1/3を超えてから履修を取りやめることはできない。

実習及び演習

第3条（第1学年）

実習および演習については、原則として、各科目の総時間数の4/5以上出席しなければその科目の成績を0点とする。

- 2 病気、その他やむを得ない理由により出席できなかった場合は担当教員に申し出ればその科目の実習・演習を補うことがある。
- 3 実習・演習の成績は、態度、技能、レポート、筆答・口頭試問・実地試験等を総合して判定する。

第4条（第2学年・第3学年・第4学年）

- 1 第2学年以降の実習については、原則として、当該科目実習総時間の4/5以上出席しなければその実習科目の単位を与えない。
- 2 病気、その他やむを得ない理由により出席できなかった場合は担当教員に申し出ればその科目の実習を補うことがある。
- 3 実習および演習の成績は、シラバスに記載された評価方法に基づいて、態度・技能・レポート・筆答・口頭試問・実地試験等を総合して判定する。

定期試験等

第5条（第1学年）

試験には定期試験、臨時試験、追試験、再試験がある。

- 2 定期試験は各学期末に行う。定期試験の他に臨時試験を行うことがある。
- 3 1学年の出席については、全授業終了後に集計を行う。各科目の総時間数の2/3以上出席しなかった者には定期試験の受験資格を与えない。ただし実習・演習は除く。
- 4 試験の方法は、筆答・口頭試問・実地・レポート提出等であり、これらは併用実施することがある。
- 5 各試験の成績は100点満点とし、60点以上を合格とする。合格した者にはその単位を与える。1科目を2名以上の教員が分担する科目の成績については、その科目の担当者の協議によって決定する。
- 6 定期試験の日程は試験の開始日の1週間前までに公示する。
- 7 病気や両親、兄弟姉妹、祖父母の忌引などやむを得ない理由により、定期試験を受験できなかった者は、速やかに欠席届に理由を明記し、事務課に提出しなければならない。
- 8 前項の理由に対して所定の期日に追試験を行う。追試験の追試験は行わない。
- 9 追試験の受験者は当該科目試験欠席届、診断書等および追試験願を指定した期日までに事務課に提出しなければならない。追試験の受験者には受験料を課する。
- 10 定期試験およびその追試験を受験できなかった場合は、その試験の成績を0点とする。
- 11 追試験の成績はその得点の80%とする。ただしインフルエンザ等の学校保健安全法で定められた感染症による欠席や忌引で欠席した場合の追試験の得点はその得点とするが、最高得点は各科目の最高点の90%とする。
- 12 不合格科目の再試験は、後期定期試験後の判定で取得科目数が所定の科目数の60%以上、あるいは所定の科目の総得点が合格基準点の総和以上の何れかに該当した者について所定の時期に行う。
- 13 再試験の受験者は、指定した期日までに再試験願を事務課に提出しなければならない。再試験の受験者には受験料

を課する。

14 再試験に合格した者の成績は60点とする。

15 再試験の追・再試験は行わない。

第6条（第2学年・第3学年・第4学年）

試験には定期試験、臨時試験、追試験、再試験、卒業試験(平成27年度以降入学生)がある。

2 試験方法は、筆記・実技試験・レポート提出等であり、これらは併用実施することがある。

3 当該科目の全授業日数の2/3以上出席しなかったものには、原則として試験の受験資格を与えない。

4 各科目の成績は以下の基準に基づいて行う。

(1) 平成26年度以前に入学した第2学年・第3学年・第4学年

各科目の成績は100点満点とし、優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(59点以下)の4段階とし、可(60点)以上を合格とする。

(2) 平成27年度以降に入学した第2学年・第3学年・第4学年

各科目の成績は100点満点とし、秀(S 90点以上)、優(A 80～89点)、良(B 70～79点)、可(C 60～69点)、不可(D 59点以下)の5段階とし、可(C 60点)以上を合格とする。

5 定期試験は以下の基準に基づいて行う。

(1) 定期試験は各学期末に行う。

(2) 定期試験の日程は試験開始日の1週間前までに公示する。

6 追試験は以下の基準に基づいて行う。

(1) 病気(学校保健安全法指定による感染症等)その他やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者は、速やかに欠席届に理由を明記し、診断書と共に、事務課に提出しなければならない。この理由により試験を欠席した者には、追試験の受験を許可する。追試験の追試験は行わない。

(2) 病気や両親、兄弟姉妹、祖父母の忌引などやむを得ない理由により、定期試験を受験できなかった者に対して所定の期日に追試験を行う。追試験の追試験は行わない。

(3) 追試験は定期試験終了後、前・後期の所定の期日に1回行う。

(4) 追試験の受験者は、指定された期日までに追試験願を事務課に提出しなければならない。なお、試験の受験者には受験料を課す。

(5) 追試験の成績はその得点の80%とする。ただしインフルエンザ等の学校保健安全法で定められた感染症による欠席や忌引きで欠席した場合に追試験の得点はその得点とするが、最高得点は各科目の最高点の90%とする。

7 再試験は以下の基準に基づいて行う。

(1) 前・後期定期試験の結果、不合格となった者のうち、担当教員が認めた場合は再試験を前・後期の所定の時期に1回行う。

(2) 再試験の受験者は、指定された期日までに再試験願を事務課に提出しなければならない。なお、再試験の受験者には受験料を課す。

(3) 再試験の結果、合格した者の成績は60点とする。

(4) 臨床実習科目の成績結果については本履修要項第5条第7項第1号を適用しない。

8 学校保健安全法の出席停止期間に該当し、上記試験を欠席した者には、別に定める日程での受験を許可する。

但し、その旨を大学に連絡し、停止期間明けには、理由を明記した欠席届と診断書を提出しなければならない。

進級等

第7条（第1学年）

学年末において、修得すべき必修・選択科目のすべてに合格した者は進級とする。

- 2 本履修要項第4条第12項による再試験受験資格のない者は留年とする。
- 3 不合格科目に対する再試験のすべてに合格すれば進級とする。
- 4 再試験の結果、不合格科目のある者は留年とする。
- 5 初年次体験実習の不合格者は留年とする。
- 6 留年者は全科目を再度履修しなければならない。但し、選択科目については、前年度履修した科目を変更することができる。

第8条（第2学年（28年度生/28年度以前入学者）・第3学年（27年度生/27年度以前入学者））

学年末において、修得すべき必修・選択科目のすべてに合格した者は進級とする。

- 2 臨床実習科目の不合格者は留年とする。ただし、その詳細は別に定める臨床実習細則による。
- 3 平成26年度以前の入学者が留年した場合は、当該学年の不合格科目を再度履修しなければならない。
- 4 平成27年度以降の入学者が留年した場合は、当該学年の全科目を再度履修しなければならない。

第9条（第4学年（26年度生/26年度以前入学者））

学年末において、修得すべき必修・選択科目のすべてに合格しなければならない。

- 2 臨床実習科目の不合格者は留年とする。ただし、その詳細は別に定める臨床実習細則による。
- 3 留年者は、当該学年の不合格科目を再度履修しなければならない。

第10条（全学年）

各学年を2年以内に修了できない者は、特別な理由がない限り、成業の見込みがない者とする。なお、当該年数に休学期間は算入しないが、休学期間は通算して4年を超えることはできない。

- 2 留年者の選択科目の履修については、前年度履修した科目を変更することができる。

卒業

第11条 本履修要項第9条に定める期間内に、学則に定める所定の単位を修得した者は卒業とする。

平成27年度以降入学者は、卒業試験に合格した者を卒業とする。

附則

1. 要項は、平成18年4月1日から施行する。
2. 本改正要項は、平成23年4月1日から施行する。
3. 本改正要項は、平成24年4月1日から施行する。
4. 本改正要項は、平成25年4月1日から施行する。
5. 本改正要項は、平成26年3月1日から施行する。
6. 本改正要項は、平成27年4月1日から施行する。
7. 本改正要項は、平成28年4月1日から施行する。
8. 本改正要項は、平成29年3月1日から施行する。
9. 学生の履修について、学則および本要項に定められていない事項は教授会の議を経てこれを定める。
10. 本要項の改廃は教授会の議を経て行う。

保健医療学部履修要項解説

1. 進級について

(1) 第1学年

		看護学科	理学療法学科	作業療法学科	判定
定期試験	不合格科目数	0			進級※
		対象科目数 6 割未満			(不合格科目数と総点数のどちらか該当する場合) 再試験受験資格あり
	総点数	総得点 6 割以上			
	不合格科目数	対象科目数 6 割以上			(不合格科目数と総点数が両方該当する場合) 留 年※
	総点数	総得点 6 割未満			
再試験	不合格科目数	0			進 級※
		1 以上			留 年※
専門科目 実習	不合格科目数	0			進 級※
		1 以上			留 年※

※進級には実習科目を含む全科目合格が必要

(2) 第2・第3・第4学年(平成25年度以降の入学生に適用)

学年	2	3	4	判定	
				2～3	4
再試験後 不合格科目数	0			進級	卒業
	1 以上			留年	留年
臨床実習科目 不合格科目数	0			進級	卒業
	1 以上			留年	留年

1) 進級

各学年において必修科目及び修得すべき選択科目全科目に合格した者。

2) 留年

- ①各学年において再試験受験資格のない者。
- ②第1学年において再試験の結果、不合格科目のある者。
- ③第2・第3・第4学年において再試験の結果、不合格科目のある者(平成25年度以降の入学生に適用)。
- ④第1学年の初年次体験実習の不合格者。
- ⑤第2・第3・第4学年の臨床実習の不合格者。